

主催者挨拶

兵庫県知事
齋藤 元彦

皆さん、改めましてこんにちは。ご紹介あずかりました兵庫県知事の齋藤元彦でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日、ここ兵庫県姫路市に全国から多数の市町村長の皆様をお迎えして、「全国市町村長サミット 2023 in 兵庫」が開催されますこと、改めて感謝申し上げます。初めての兵庫県の開催でございます。全国からご参加いただいた皆様に心から感謝を申し上げたいと思っております。

私は元々総務省で勤務を20年ほどしておりました。駆け出しが三重県庁、そしてその後が新潟の佐渡、さらには震災後に宮城、福島、そして大阪府庁で務めさせていただきました。今日もそれぞれの地域から多くの方々、首長さんが来られているということで、改めて歓迎申し上げたいと思っております。

また、今回の開催にあたりましては、ご地元の姫路市の多大なご協力をいただきました。清元市長にも来ていただいておりますけれども、改めて御礼申し上げたいと思います。そして何より、松本大臣をお迎えというか、主催は総務省でございますけれども、地元選出の松本大臣をお迎えしての開催ということで、改めて心から嬉しく思います。兵庫で開催ということで、「姫路でやらしていただきたい」という話になった時に、その直後に総務大臣に松本大臣がなられたということで、大変縁があるなど思っ



いたところです。ちょっと前に報道で内閣改造の話がチラチラ出た時には少しひやひやしたということもございましたけれども、何とか今日の日をお迎えすることができたこと、改めて嬉しく思います。本当に総務省、山越審議官をはじめ関係の皆様にも御礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

さて、兵庫県でございますが、北は日本海側、そして南は淡路と、5つの地域、5国からなる、日本の縮図と言われている地域でございます。摂津、播磨、但馬、丹波、淡路という、歴史も風土も全く異なる地域から成り立っています。それぞれの地域、そして人、文化、それぞれの個性を活かしてみなさんが頑張っているというのがこの兵庫県の魅力であると考えています。中でもここ姫路市は、世界に誇る世界遺産「姫路城」がございます。今年30周年の節目を迎えるということでございまして、今、関係者の皆様が一生懸命盛り上げていると

ころでございます。

また、カーボンニュートラルというものが非常に大事になっています。水素であつたりとか脱炭素というものをこれから地域社会が目指していくという意味でも、この姫路地域は鉄を作ったり発電をしたり、いわゆる重厚長大型の産業が集積しているところですから、これをカーボンニュートラルの地域に変えていくということに今懸命に取り組んでいるところでございます。

こういった歴史と伝統、さらには新しい次世代産業に向けた取組をしているというのがこの播磨地域でございますので、ぜひそこも含めていろいろな魅力を感じていただければと思っております。

全国的に人口減少というものが課題になっております。ここ兵庫県もそうですけれど、各地の自治体においても同じ取組が課題になっているところだと思います。人口減少はなかなか反転することは難しい面もありますけれど、全世界で言うと人口がすごく増えていっている中で、水や食料、いろいろな資源の奪い合いをするという時代がもしかしたら到来するかもしれない。そんな中で日本は、みなさんが生産性を上げながら、農業もそうですけれど、持続可能な社会を作っていくことで、日本の地域社会が、実は人口減少を迎える中で住みやすい、幸せに暮らせる社会になるのではないかという思いも私自身はいただいているところでございます。

そういった中で兵庫県が今力を入れているのが、2025年の万博に向けた取組です。万博は今、夢洲という会場で準備を進めています。パビリオンの問題はいろいろありますけれども、一方で、万博の会場の外でいわゆるプログラムであつたり活動を発信していくというのが今回の万博のテーマです。いわゆる万博の、会場の外に拡張していく、拡張型の万博というのがこれからの万博の1つの主流になります。

そういった意味で、兵庫県では2年前から、私が就任した直後から、兵庫県各地で地場産業や農業や震災からの復興——（2025年は）30年という節目になります——そういった地域社会を持続可能な形で頑張っていこうというそれぞれの取組があります、それこそが私はイノベーションだと思っていまして、その取組の現場そのものをパビリオンに見立てて国内外に発信していくということをやりたいと、それが「ひょうごフィールドパビリオン」というコンセプトで準備を進めてきました。補助金も全くない取組でしたので、「誰も手を挙げなかったらどうしよう」と思ったのですが、今はもう150を超えるいろいろな方々から「一緒にやりたい」と言っていております。そういった方々とぜひ一緒に取り組んで、これから2025年に向けて発信していくということが、持続可能な地域社会を兵庫からさらに進めていく上で大事だと思っております。

本日のシンポジウムを含めて、明日はエクスカッションがございまして、兵庫のフィールドパビリオンを含めた地域の持続可能な取組の一端をぜひ多くの方々に見て、感じていただきたいと思いますので、どうぞよろしくお願

いたします。

本日の分科会、8つの市町から取組の発表、そして地元からは清元市長をはじめ、養父の広瀬市長からも取組を発表していただきます。確かに人口減少や過疎化、苦しい時期・時代を迎える可能性もありますけれども、そんな中でも何か前を向いて取り組みをしていくというヒントを皆様と共有する大きな機会になればよいなと思っております。

結びになりますが、本日のサミットが皆様にとって実り多いものになり、ここで生まれた交流がぜひ全国のさらなる活性化に繋がるということを心からご期待申し上げまして、冒頭のご挨拶とさせていただきます。みなさん、どうぞよろしく申し上げます。ありがとうございます。